

＜真剣味＞⑨

2014. 10. 15

「大学芋」から学ぶ

突然ですみません。教員時代の給食のメニューでは、「大学芋」は食したい一品でした。今ではそれを作るようになりました。家では子供が美味しそうに食べるので、こちらも楽しく料理ができます。

この前、いつものスーパーに出かけたときに、驚いたフリップがありました。

「大学芋」はサツマイモくんでなく、私「かぼちゃ」でも作れるのよ！とありました。えっ！と思いながら「かぼちゃ」を購入していました。

実際に作ってみました。色合いがいいし、火の通りもいいので思ったよりスムーズ`にできました。そして、家族に食べてもらったら「かぼちゃ」の方が美味しいし、栄養的にもいいのかな！という話になりました。これからは大学芋？は「かぼちゃ」で作ってということになりました。私は美味しいという声を聞いただけでOKです。これでまた作ってやろうと思いました。

実際にこの料理？を作ったことは、「大学芋」ならサツマイモでという固定観念があり、また私は年齢的にも頭が硬くなっているので柔軟な考えができないのかもしれませんが。今回のことで見方・考え方を変えることで、またいろんなものが見えてくるということ学びました。

これを野球の指導においても同じことが言えるように思いました。いつも真正面からしか選手を見ていないと、その人の良さが分からない時があるということ。

だからもっともっと頭を柔らかくし視野を広げながら、粘り強く、今後も指導に当たりたいと思います。

ダッシュカ！

日頃からグラウンドでダッシュカを高めている。13日（月）の練習試合でも普段やっているダッシュカを生かすプレーがあった。ランナーを三塁・本塁間で挟むプレーである。ボールを受けるタイミングも問題になるが、ボールを受けた選手のダッシュカがどれだけ必死になれるかで早いタイミングのアウトがとれるかが決まる。2回ともアウトをとれたのはグッドですが、もう少しダッシュカを使っていれば打者走者がセカンドにいかなくて済んだかもしれません。

やはり普段からプレーのことを頭の片隅に置き、練習に取り組んでもらいたい。

よく頑張った！

13日（月）の練習試合から。彼は2試合ともマスクをかぶった1年生の捕手。捕球だけでも大変なのに、上級生の投手にサインを出し、全体にも指示を出していた。しかも、塁に出たら盗塁まで決めた。とても楽しい試合だったでしょう。ご苦労様。